

LED 乾電池式 センサーフットライト

1 安全に関するご注意

製品および取扱説明書には、重要な内容の記載があります。それは、お使いになる方や他の方への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくためです。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みいただき、記載事項を必ずお守りください。

図記号の説明	 警告 「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。	 注意 「損害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。
表示の説明	 は、してはいけない「禁止」内容です。	 は、必ず実行していただく内容です。

 警告	 守る 本体の取り付けはこの取扱説明書に従い、 確実に おこなってください。	 濡れ手禁止 乾電池を交換する際は濡れた手で本体に触れないでください。また本体が濡れている場合も触れないでください。
	 禁止 本体は水平に取り付けてください。斜めや逆さまに取り付けると正しく検知が出来ないことがあります。また雨水が入り故障の原因となります。	 禁止 点灯中のライトを直視しないでください。視力に悪影響を及ぼすおそれがあります。
	 禁止 本体を大量の水がかかる場所に設置しないでください。通常の雨や風には耐えますが、防水タイプではありません。	 禁止 布や紙など燃えやすい物の近くに取り付けてないでください。火災の原因になります。
		 分解禁止 分解・改造をおこなうと保証の対象外となりますのでお止めください。

 注意	●本機は人を検知した時にライトを点灯させる機能を有しておりますが、侵入・盗難を確実に阻止するものではありません。万一発生した損害につきましては責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。 ●気温・気圧等の気象変化によりセンサーがまれに誤動作することがありますが故障ではありません。 ●電池残量が少なくなると、ライトが暗くなったり、点灯しなくなったり、また点滅することがあります。その場合は電池交換をおこなってください。 ●電池は正しく使用しないと液漏れ・破裂・発熱などの原因となりますので以下の取り扱いにご注意ください。 ・電池は⊕⊖方向を正しく入れてください。 ・古い電池、種類の異なる電池を混ぜて使用しないでください。 ・長期間ご使用にならない場合は電池を取り外してください。 ・電池は充電しないでください。 ・電池のアルカリ液が目に入ったり皮膚や衣服に付着した場合は失明やケガのおそれがありますのですぐに多量のきれいな水で洗い流し、医師の診断を受けてください。 ●電動シャッターなど電波を利用する機器の近くで使用しないでください。故障・誤動作の原因となります。 ●モーターなど磁場が発生する機器の近くで使用しないでください。故障・誤動作の原因となります。 ●ガス機器や排気口など、温度の高くなるものの上に取り付けをしないでください。 ●落下・故障の原因になりますので必ず付属品または別売り品を正しく使用してください。 ●本体のお手入れは柔らかい布で乾拭きするか、薄めた中性洗剤を含ませ固く絞ってから拭いてください。 ●本体の取り付けネジは半年に1～2回を目処に、ゆるみやガタつきがないか点検してください。 ●ライトの明るさや光の色に違いが出る場合がありますが商品の特性上ご了承ください。 ●LEDの交換はできません。 ●仕様及び外観は予告なく変更する場合があります。
---	--

取扱説明書

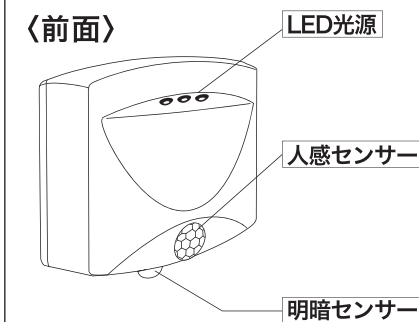
LS-BH02E4-W（商品番号：07-8209）
LS-BH02E4T-W（商品番号：06-4210）

〈お客様へのお願い〉この度は弊社商品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。ご使用前に必ずこの「取扱説明書」をお読みになり、正しくお使いください。お読みになったあとも大切に保管し、必要なときにお読みください。

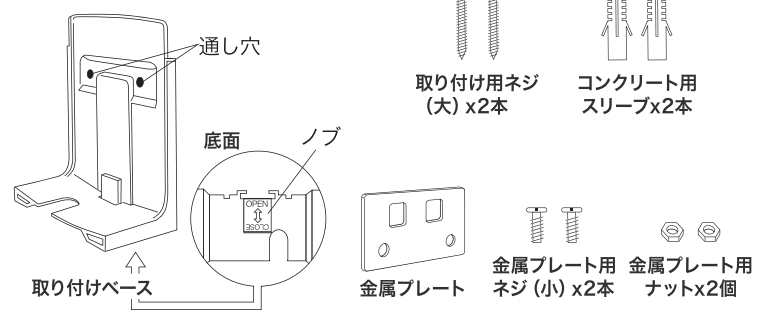
2 各部の説明

■本体

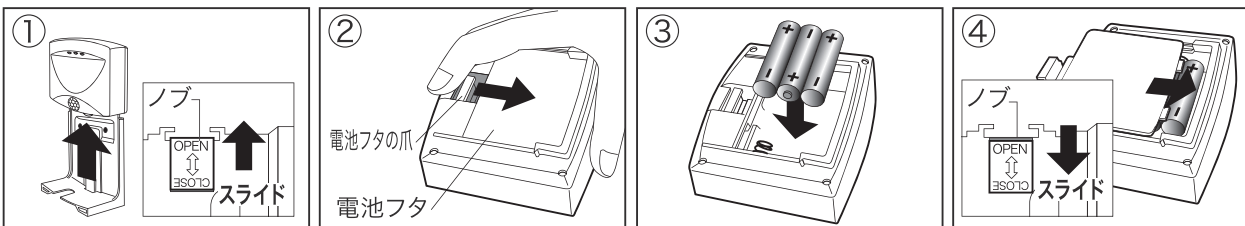
〈前面〉



■付属品



3 電池の入れ方



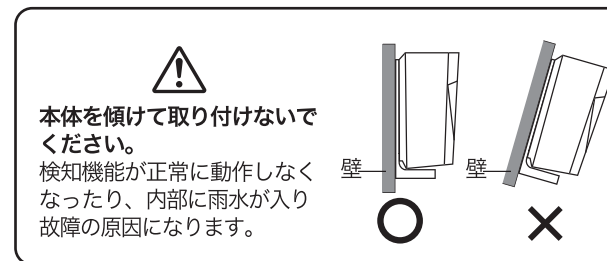
- ①まず本体背面の取り付けベースを取り外します。取り付けベースの底面のノブをOPEN側にした状態で、取り付けベースを本体からスライドして引っ張ると外れます。
- ②電池フタを取り外します。電池フタの爪を図の方向に押しながら持ち上げると外れます。
- ③電池ケース内の⊕⊖表示を確認して、単3形アルカリ乾電池3本をセットします。
- ④逆の手順で電池フタを元通りに戻します。取り付けベース底面のノブをCLOSE側にして本体と取り付けベースをロックしてください。

4 ライト本体の取り付け

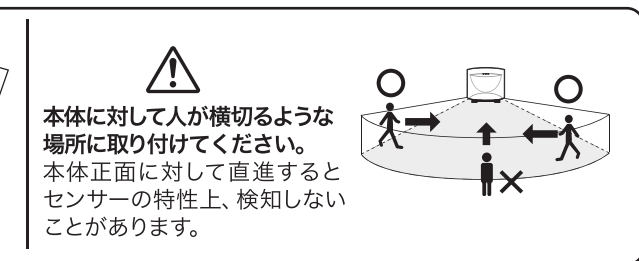
⚠️ 取り付け注意

次のような場所に取り付けるとセンサーが周囲の明るさと温度変化を検知して誤動作や動作しないことがあります。

車の通りの近く	強い振動を受ける場所	電波の強い場所	手前に障害物があるところ (透明のガラスでも動作しません)	風などで揺れる植物やカーテン・洗濯物の近く
狭い場所でセンサーに向かって直進した場合	取り付け高さが3m以上の場所	夜間でも明るい街路灯などの近辺	大理石の床や壁などの光の反射を強く受ける場所	エアコンなどの送風を受ける場所



⚠️ 本体を傾けて取り付けしないでください。
検知機能が正常に動作しなくなったり、内部に雨水が入り故障の原因になります。



⚠️ 本体に対して人が横切るといった場所に取り付けてください。本体正面に対して直進するとセンサーの特性上、検知しないことがあります。

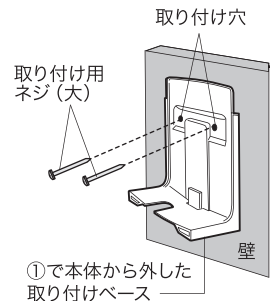
4 本体取り付け方法 ⚠ 万一落下しても事故が起こらない場所を選んでください。

① 取り付けベースを本体から外します。「3.電池の入れ方」の①の図もご参照ください。

まず本体背面の取り付けベースを取り外します。
取り付けベース底面のノブをOPEN にした状態で、取り付けベースを本体からスライドして引っ張ると外れます。

② 取り付け方法を選択します。

(a)ネジで取り付け

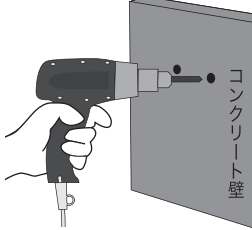


- ①で本体から外した取り付けベースを付属の取り付け用ネジ(大)を使用して地面に対して垂直な壁に図のように固定します。

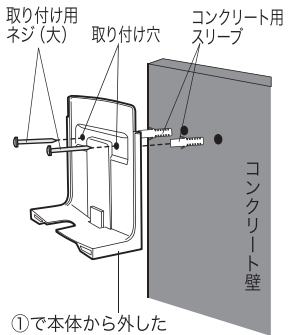
※取り付け向きを間違えると本体が正しく装着できません。

(b)コンクリート壁への取り付け

直径6mm深さ30mmの穴を開ける



- 先にドリルで直径6mm、深さ30mmの穴を開けます。
- そこへ付属のコンクリート用スリーブを打ち込みます。



①で本体から外した取り付けベース

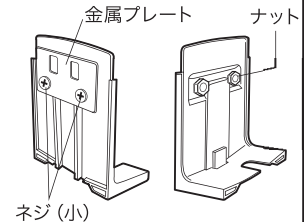
- ①で本体から外した取り付けベースを付属の取り付け用ネジ(大)を使用して地面に対して垂直な壁に固定します。

※取り付け向きを間違えると本体が正しく装着できません。

(c)市販の結束バンドで取り付け

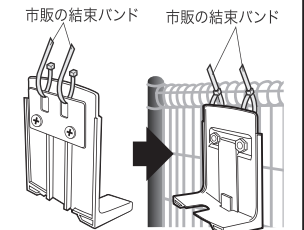
付属の金属プレート、取り付けネジ(小)、ナットを使用します。

※柱に取り付ける場合は先に(3)に進んで、結束バンドを金属プレートに通してください。

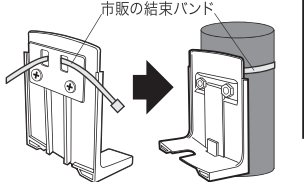


(1)本体から取り外した取り付けベースに金属プレートを取り付けます。取り付け用ネジ(小)とナットを使用して図のように固定します。

〈金網やフェンスに取り付ける場合〉



〈柱に取り付ける場合〉



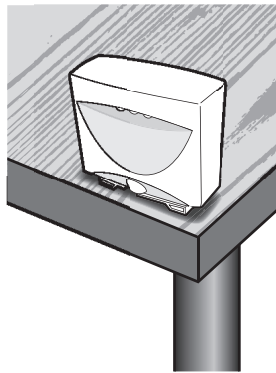
(2)取り付けベースを本体に取り付けます。
(3)市販の結束バンドを金属プレートの穴に通します。

(d)置いて使う(屋内のみ)

※取り付けベースをつけた状態で使用します。

玄関わきの棚、クローゼットなどに置いて使用します。

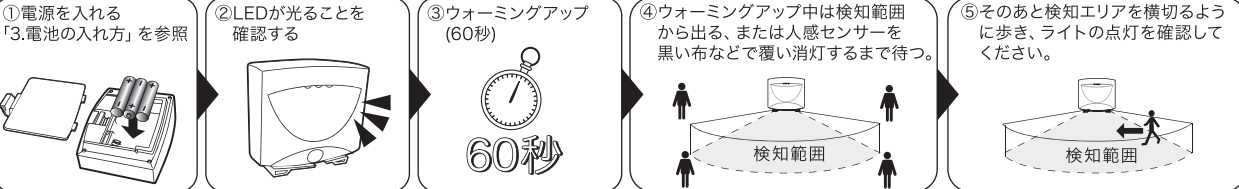
※据え置きで使用する場合、底面の明暗センサーが隠れるため周囲が明るくても点灯することがあります。



本体の設置は完了です。

※市販の結束バンド幅約6mmまで使用できます。
※市販の結束バンドを使用した場合の本機の破損や落下などの事故の保証はありません。

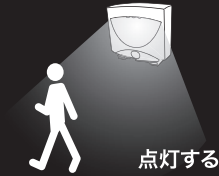
6 センサーの動作テスト ※必ず暗い環境でおこなってください。



センサーの動作

- 明暗センサー+人感センサーで周囲が暗いとき人が侵入すると点灯します。
- 周囲が明るいときは点灯しません。

周囲が暗い+人が通る



点灯する

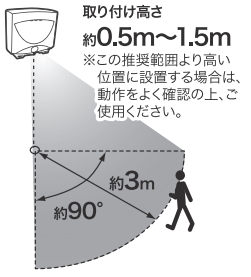
周囲が明るい+人が通る



点灯しない

センサー検知エリア

〈検知エリアを上からみた図〉



⚠ 検知エリアに関するご注意

- 検知エリアは目安です。気温・服装・移動速度・侵入方向・体温・器具の取り付け高さなどにより大きく変動します。
- センサーは検知エリア内の温度変化を検知しますので人以外の動物や車などが移動した場合も検知します。
- 夏場の周囲の温度が高く、人の体温との差が小さいとき検知しない場合があります。
- 検知エリア外でも人より大きい熱源(車など)が移動したとき検知する場合があります。
- センサーライトの真下は検知できない場合があります。

7 故障かなと思ったら

現象	考えられる原因	処置
ライトが点灯しない	・電池が入っていない、または電池の接続方法が間違えている	電源の⊕⊖を確認し正しくセットしてください。新しい電池に交換してください。
	・夜でも周囲が明るい	夜でも周囲が明るい点灯しません。
	・センサー部に向かって直進している	「6.センサーの動作テスト」をご参照ください。
	・人感センサーが汚れている	人感センサーを清掃してください。
ライトが点灯したまま消灯しない	・人感センサーに蒸気や雨などの水滴が付いている	センサーは検知エリア内の温度変化を検知しますので、左記の場合は検知しづらいことがあります。
	・寒いときや雨降りのときに人がマフラーや傘などで覆われている	
屋なのにライトが点灯する	・夏場で周囲の温度が高く、人の体温との差が小さい	センサーの前に壁やガラスがあると検知出来ません。取り付け位置を変更するか、検知エリアの調整をやり直してください。
	・非常にゆっくりした速度で検知エリアを移動した	
点灯回数が少なくなった	・検知エリアが遮られている	誤動作源を取り除くか、取り付け位置を変更してください。
	・検知エリア内および周囲に誤動作源がある(例)他の照明器具、洗濯物、犬や猫、植木、エアコン吹き出し口、ガス給湯器、強い無線ノイズ、車の熱やヘッドライト	
点灯回数が少なくなった	・検知エリアが道路にかかっており、通行する車や人に反応している	・取り付け位置を変更してください。
	・屋でも本体周囲が暗い	
点灯回数が少なくなった	・据え置きで使用する場合、明暗センサーの底面が覆われるため明暗センサーは周囲が暗いと判断する場合があります	・据え置きで使用する場合は屋でも点灯することがありますので場所を変えてご使用ください。
	・乾電池の電圧が低下している	
点灯回数が少なくなった	・乾電池の電圧が低下している	新しい電池に交換してください。
	・乾電池の電圧が低下している	

8 仕様

名称	LEDセンサーフットライト 乾電池式(1灯)
検知方式	赤外線受動式
使用電源	単3形アルカリ乾電池3本 ※別売
電池寿命	約6ヶ月(1日5回点灯時間45秒) ※乾電池の性能、使用条件により大幅に変わる場合があります。
光源	白色LED
点灯保持時間	約45秒(固定)
外来固形物に対する保護・水に対する保護	IP44(JIS C 0920:2003による) ※直径1.0mm以上の大きさの外来固形物に対して保護する、水の飛まつに対して保護する
使用周囲温度範囲	-5℃~+45℃
質量	約80g(電池を除く)
外形寸法	(約)幅80 x 高さ77 x 奥行40 mm(取り付けベース含む)
付属品	コンクリート用スリーブ2本、ネジ(大)2本、金属プレート、ネジ(小)2本、ナット2個、取扱説明書

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
<http://www.ohm-electric.co.jp>

製品に関するお問い合わせは お客様相談室 へ
●通話料無料 ●携帯・IP・公衆電話からは
0120-963-006 048-992-2735
電話受付 平日 9:00~17:00
※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます